

『地域に目を向け、地域とともに育つ生徒の育成』

越前市武生第三中学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

<家庭> P T A会長・副会長（2名）
<地域> 自治振興会長・公民館長・
見守り隊長・学識経験者
<学校> 校長・教頭・教務主任・
生徒指導主事

※地域コーディネーター（2名）
国高地区公民館長（1名）
前P T A会長（1名）

(2) 協議会の内容

第1回 6月26日（水）
・スクールプランの説明
・通学路用の状況確認
第2回 12月19日（木）
・全国学力・学習状況調査の結果について
・学校評価について
第3回 2月27日（木）
・学校評価の結果について

(3) 協議会における成果と課題

- ・地域の方から校区内の危険箇所や生徒の登下校の状況等をお知らせいただいたことで、生徒の安全面について指導することができた。
- ・地域コーディネーターから紹介していただいた講師の方を招いて、文化的活動（陶芸教室、生け花教室、お香づくり教室）を行うことができた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

生徒が自分の住んでいる地域に誇りをもち、積極的に地域と関わる意識を大切にするために、保護者の理解や地域コーディネーターの支援を受けながら、地域の実情に応じた活動に参画し、体験や地域貢献を通して、地域への愛着や地域貢献の意欲を育む。

(2) 活動の実際

①地域美化ボランティアへの参加を企画から

本校は以前から地域の方の協力、支援を得てボランティア活動が盛んである。その一つである地域美化ボランティアは、企画が固定化しつつあるという課題もあったため、「地域の美化のために何かできないか」ということを生徒会の福祉委員会で考えた。その結果、学校の周辺を季節の花（プランター）で飾るといったアイデアが生まれた。地域コーディネーターから紹介していただいた国高地区のグリーンクラブの方に指導していただき、プランターへの植栽を行った。生徒が毎日通る通学路に設置し、地域の方の目も楽しませることができた。

（福祉委員会、2年生の希望者）



②文化的活動（陶芸教室・生け花教室）を通して、地域の方の支援を得る

国高地区には文化的活動を行っている人材が多い。地域コーディネーターにその人材バンクを紹介していただき、後期の生徒会役員にどのような活動をしてみたいか企画を考えた。希望が多かった陶芸教室と生け花教室を開催し、当日は部活動単位で、美術部員と吹奏楽部員が陶芸作品作りや、生け花体験を通して、地域の方から技と心を伝授していただいた。



（3）地域コーディネーターの活動概要

- ・地域美化ボランティア活動の企画・運営に対する支援
- ・プランター植栽活動についての講師の斡旋・連絡調整
- ・お香づくり活動についての講師の斡旋・連絡調整
- ・陶芸教室についての講師の斡旋・連絡調整
- ・生け花教室についての講師の斡旋・連絡調整

（4）特に工夫した事項

- ・公民館（自治振興会）の協力を得ながら、地域でのボランティア活動を推進する。
- ・地域コーディネーターの支援を得て、校外での生徒の活動、地域の方を招いた体験活動を推進する。

（5）成果と課題

本校はこれまでもボランティア活動を中心に、地域の方からの支援や協力を受けて活動してきたが、さらにその傾向が促進された。地域の方を講師に招いた体験活動を4回行ったり、生徒会の役員会議や委員会活動の中で、地域のために自分たちができることを考えさせたりしたことは、「社会に開かれた教育課程」の実現のための第一歩となっている。

課題としては、地域コーディネーターとの連携が単発的であったため、地域コーディネーターの方の参画意識が弱くなってしまっていた点が挙げられる。地域の中での体験について、今年度は生徒の意見を反映することができたが、次年度は、地域の方の要望や意見も反映させる手立てが必要であると考えている。